

使用済燃料再処理・廃炉推進機構 第84回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 2025 年 6 月 5 日（木）13:30～16:00
- 2 開催場所 使用済燃料再処理・廃炉推進機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介（委員長）、山口彰（委員長代理）、秋池玲子、井口哲夫、
小澤俊朗、織朱實、梶川融、佐久間総一郎、采田正之
出席理事 増田博武（理事長）、鴫田真孝（副理事長）、板垣雄士、出光一哉、
胡居宏明、河合雅彦、平畠暁、水田仁
出席監事 山上圭子

4 議事の経過及び結果

（１）運営委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は17名であった。定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているので、本運営委員会が成立したことを確認した。

（２）議案審議及び自由討議

【決議事項】

第 1 号議案 日本原燃との使用済燃料再処理役務委託契約及び

MOX 燃料成型加工委託契約に基づく覚書締結の決定の件

○事務局から、日本原燃との使用済燃料再処理役務委託契約及びMOX 燃料成型加工委託契約に基づく覚書締結に関する議案について説明を受けた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

第 2 号議案 再処理等拠出金単価決定の件

○事務局から、これまでの運営委員会における討議を踏まえた 2024 年度の特実発電用原子炉の運転に伴って生じた使用済燃料の単位数量当たりの拠出金単価の決定に関する議案の説明を受けた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

第 3 号議案 2025 年度廃炉拠出金年度総額及び拠出金率決定の件

○事務局から、これまでの運営委員会における討議を踏まえた 2025 年度廃炉拠出金年度総額及び拠出金率決定に関する議案の説明を受けた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

第4号議案 2025 事業年度予算及び資金計画変更の件

- 事務局から、2025 事業年度予算及び資金計画の変更に関する議案の説明を受けた。
- 委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

第5号議案 2024 事業年度決算の決定等の件

- 事務局から、2024 事業年度財務諸表、事業報告書及び決算報告書について説明を受けるとともに、2024 年度余裕金運用実績について報告を受けた。また、監事から、当該事業年度の業務執行について監査した結果、適正に実施されていること、並びに財務諸表及び決算報告書は適正であると認めるとの監査報告を受けた。
- 委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

第6号議案 2024 事業年度廃炉推進業務実施状況報告書決定の件

- 事務局から、2024 事業年度廃炉推進業務実施状況報告書について説明を受けた。
- 委員から、掲げた目標に向け、関係者と連携し業務を遂行して欲しいとの意見があった。
- 委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、全員異議なく賛成し、原案のとおり可決された。

【報告事項】

a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について報告を受けた。

<添付資料>

「主な業務の執行状況」

委員から、しゅん工に向けた審査対応について、日本原燃に対し、原子力規制庁との間で課題認識の共有を進めることが重要である等の意見があった。

b. 再処理事業等の事業費精査について

事務局から、日本原燃からの事業費提案等に関する 「事業費精査に係る基本方針」を踏まえた精査状況について報告を受け、自由討議を行った。委員からは、精査内容はしゅん工目標時期の延期等を反映しており、適正であるとの意見があった。また、精査結果を公表する際には、経済指標の反映方法について丁寧に説明すべきとの意見があった。

(3) その他

委員長は、議事概要に記名押印する者として、委員長の他、山口委員長代理及び増田理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理・廃炉推進機構
運営委員会

委員長 近藤 駿介 印

委員長代理 山口 彰 印

理事長 増田 博武 印

以 上